

「まちづくりに関する提案・意見募集」結果

提案・意見の概要	提案・意見	提案・意見に対する市の考え方	担当課
【産業振興・中心市街地活性化・公共交通】			
1 歩いて楽しいまちづくりについて	<p>1-1 米子駅に素晴らしい南北自由通路「がいなロード」が開通したが、南口エリアが未だに未開発で人流が少ない。南側の活性化に取り組み、歩いて楽しいまちづくりを進めて欲しい。鉄道の街として、鉄道公園や鉄道博物館、鉄道ショップなどが出来ると、南口への人流も増えると思う。</p>	<p>現在、米子駅南側エリアを含めたにぎわい創出に向け、駅前通り実証実験（YONAGO STREET WALK！！）や、多言語対応の観光案内看板の設置など様々な取組を進めているところです。また、令和9年に東山公園内に竣工予定の米子アリーナ（新体育館）に向けて、米子駅南側からの道路（歩行者環境）の整備にも取り組んでおり、南口を中心とした新たな人流が生まれることを想定しています。</p> <p>今後は、民間企業の投資や開発につながるよう、土地利用の規制緩和の検討など、南側の活性化に向けて更なる取組を進めていきます。</p> <p>現時点では、鉄道公園などの整備は考えていませんが、引き続き、J Rと連携した観光情報発信、観光列車のおもてなしなどによる観光P R、J Rの企画への積極的な参画、山陰の鉄道を巡るパンフレットの作成などに取り組んでいきます。</p>	都市創造課 観光課
	<p>1-2 中心市街地の施策が多く、周辺地域に対する取組が殆どない。</p>	<p>周辺地域においては、地域の実情に応じた様々な取組を行っており、例えば、弓浜地区における交通手段を確保するため、近隣の商業施設や病院を巡回するバス（よねぎーバス）の実証運行を開始するなどの取組を進めているところです。</p> <p>また、鉄道駅周辺や公民館周辺を地域の拠点として位置付け、その周辺の開発を可能とする土地利用の規制緩和にも取り組んでおり、伯耆大山駅や河崎口駅周辺では民間事業者による宅地や店舗の開発が行われています。</p> <p>今後も中心市街地（まちなか）と周辺地域（郊外）の一体的な発展をめざすとともに、持続可能なコンパクトなまちづくりを進めていきます。</p>	都市創造課 総合政策課

提案・意見の概要	提案・意見	提案・意見に対する市の考え方	担当課
【産業振興・中心市街地活性化・公共交通】			
1 歩いて楽しいまちづくりについて	1-3 米子市中心部の歩いて楽しいまちづくりを激しい怒りをもって断固反対する。関連事業を含めて市の一般財源が充てられおり、米子市中心部の一部のみに寄与する政策は到底看過できない。また、歩いて楽しいまちづくりのによって、観光誘客は伸びたのか。観光客が増えたというエビデンスを明確に示して欲しい。	歩いて楽しいまちづくりでは、米子市中心部（まちなか）と郊外とが公共交通で便利に結ばれて、街全体ににぎわいを創出することを目的としています。なお、まちなかには商業、医療、交通などの利便施設が集積しており、公共交通の利便性の向上とともにまちなかの機能の維持を図ることは、多くの市民の利便性の向上に寄与するものと考えています。 なお、令和6年の米子城跡周辺エリアの来訪者数（滞在人口）は、令和5年の同時期（1月～10月）と比較すると、約5,200人（約10%）増加していることから、観光客についても増加しているものと認識しています。今後は城下町エリアや米子港エリアも含めた誘客ゾーンの創出に向けても様々な取組を進めていきます。	都市創造課 観光課
2 公共交通について	2-1 自動運転はじめ先端技術の導入による、サステナブルな公共交通体制の構築を願う。	技術開発が進み完全自動運転が実現すれば、ドライバー不足への対応や運行の効率化による地域公共交通の維持改善などが期待されます。国の動向等を踏まえながら、実証実験の実施など、どのような形で導入することが効果的なのか、検討を進めます。	交通政策課
	2-2 電子マネーの中でも、ICOCAは通勤通学でJRを利用する人に広く普及しているため、利便性向上や利用促進という観点から、早急に路線バスでICOCAが利用できるよすべきであると考える。	電子マネーの導入については、米子市循環バス「だんだんバス」にICOCAを導入したところであり、引き続き県内路線バスへの展開について取り組んでいきます。	交通政策課
	2-3 弓浜地区に10月から循環バスの実証実験が行われるが、高齢者はバス停まで歩くことが困難である。また、屋根もなく雨風に吹かれながらバスを待つ状態である。	弓浜地区の実証運行で設置したバス停は、住民説明会での意見を踏まえて設置したものです。バス停の整備については、路線バスも含めた課題として取り組んでいきます。	交通政策課 長寿社会課
	2-4 デマンドバスはスマホを持たない高齢者は利用できない、循環バスと共にドアtoドアの地域交通は必要だと思う。	鉄道・バスでの移動が困難な方への対応として、福祉有償運送など既存の移動手段や制度の活用に加え、全国の事例の調査研究も進めながら、福祉施策等と連携した支援を行っていきます。	交通政策課

提案・意見の概要	提案・意見	提案・意見に対する市の考え方	担当課	
【産業振興・中心市街地活性化・公共交通】				
3	米子港周辺土地利用について	<p>3-1 米子港周辺の空き土地が利用されることは良いことだが、プラスαがないと、地元の人が足を運ぶ環境にはならない。広島市南区宇品海岸にある建物のように、海と建物を繋ぐ空間づくりをして、地元の人もショッピングやお食事を楽しんだり、階段に座って話をしたり、写真を撮ったり、ジョギングしたりと気軽に立ち寄れる環境づくりをして欲しい。また、米子市にはオシャレな場所があまりないので、米子港周辺を若い人や家族連れが訪れやすい場所にしてもらいたい。</p>	<p>米子港周辺の開発については、民間事業者が開発の計画を進めているところです。米子港周辺の活用については、魅力あるエリアとなるように、近隣の観光事業者や飲食事業者なども含めて連携を図りながら取り組んでいきます。</p>	観光課 都市創造課
4	朝日町の空き店舗について	<p>4-1 コロナもあり、朝日町がとても寂しい街になっている。また、空き店舗が多く、怖い。朝日町と米子を活気づけるためにも、空き店舗を減らす取組が必要であると考え。そこで、朝日町で出店したい方に2年間家賃負担ゼロ・店のリフォーム費用50万円助成（市負担）という政策で、朝日町の空き店舗を利用していくのはどうか。</p>	<p>まちなかのにぎわい創出の観点から、朝日町周辺エリアの活性化は課題であると認識しており、関係者の意見や要望を伺いながら取り組んでいきます。</p>	商工課
5	烏大病院の再整備と連動したまちづくり等について	<p>5-1 湊山公園の一部を医大に提供するという件について、医大の病床問題、防災問題解決のため仕方のないことなのかもしれないが、残念な決定だと感じた。湊山公園の一部を医大に提供するのであれば、医大の中に子どもたちが走り回って遊べる場を作って欲しい。（雨、雪、猛暑の日でも関係なく利用できる）</p>	<p>湊山公園の一部提供については、鳥取大学医学部附属病院が診療を続けながら再整備を行うために、必要不可欠なものであると認識しています。また、再整備については、これを契機として、公園と病院が一体となった憩いの場として、湊山公園一帯を魅力あるものに整備していきたいと考えています。</p> <p>こどもの遊び場についても病院の再整備と湊山公園内にある児童文化センターとの連携の可能性も含めて、様々な観点から検討し、取り組んでいきます。</p>	総合政策課 都市整備課

提案・意見の概要	提案・意見	提案・意見に対する市の考え方	担当課	
文化・観光・スポーツ				
6	観光資源の活用などについて	<p>6-1 境港市はビーチクリーン事業などを行いキャンプやビーチバレーなどで活用している。皆生温泉ばかりではなく、弓ヶ浜半島も白砂青松の優美な海岸で全国に誇れる海岸であり、観光資源として利活用すべきだ。大山では、パラグライダーやハングライダー、弓ヶ浜海岸ではマリンスポーツ、境港では大きな釣り堀など自然を活かした取組などを実施してみてもどうか。インバウンドに頼ることなく国内観光の磨き上げも大切だと思う。</p>	<p>弓ヶ浜半島における本市の観光誘客については、「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」の魅力や、国内外に向けて発信しているところです。引き続き、サイクリングの活用を柱としながら取り組んでいきます。</p>	観光課
防災・道路・公園・住宅・上下水道・環境保全				
7	信号の設置について	<p>7-1 米子駅南口からの道路開発をしているが、駅南口から出て直進した米子環状線の右折がしにくい。交通量が多く大変危険な状態なので信号を設置して欲しい。また、その一つ手前の交差点では衝突事故が多発している。一旦停止せずに侵入する車が多い。こちらもはっきりした道路優先、信号設置が必要だと思う。</p>	<p>提案箇所の信号機設置については、本市も必要性があると考えており、今後の周辺環境の整備などに伴う交通量の変化にも注視しながら、米子警察署等と連携し必要な安全対策を行っていきます。</p>	都市整備課
8	街中の美化活動について	<p>8-1 歩いて楽しいまちづくりが進められているが、それと共に街中に捨てられるゴミが増えている。ゴミ拾い活動を推進し、ウォークブル・クリーニングシティーをめざして欲しい。</p>	<p>本市では、「米子市みんなできれいな住みよいまちづくり条例」により、道路や公園等公共の場所におけるごみのポイ捨てを禁止し、市民、事業者等と協働して環境の美化に取り組むことで、きれいなまちづくりを推進しています。引き続き、市内一斉清掃やボランティア清掃など市民の皆さんと協力して環境美化に取り組むとともに、普及啓発活動に取り組んでいきます。</p>	クリーン推進課

提案・意見の概要	提案・意見	提案・意見に対する市の考え方	担当課	
防災・道路・公園・住宅・上下水道・環境保全				
9	水のある街並みについて	<p>9-1 9月になっても35度を超える猛暑が続いている。市内では公会堂の噴水が廃止になったり、文化ホール前の噴水・水の流れもポンプの故障で作動していない。水のある街並みを整備して欲しい。</p>	<p>公会堂の噴水池については、平成25年度の大規模改修の際、老朽化した設備を撤去し、前庭を拡張することで、市民の憩いの場の充実、イベント等での活用による賑わい創出を図ることとしました。</p> <p>文化ホール前の噴水については、噴水の水が風の影響で歩行者にかかるといったご意見を多くいただいたこと、また、水路の流れについても、子どもが水路の水で遊ぶため、不衛生かつ危険というお声が多く寄せられたことにより、稼働を停止して現在に至っています。</p> <p>いずれの設備も経年劣化しており、完全な機能回復には大規模な改修が必要となることなどからも現時点では修繕する予定はありません。なお、加茂川や中海を活かした「かわまちづくり」、皆生海岸の「海遊ビーチ」や「海岸散歩道」の整備・活用、法勝寺川の「水辺の楽校」など、自然の親水環境資源の活用に取り組んでいきます。</p>	文化振興課
10	防災について	<p>10-1 米子市防災計画は現実的ではないと思う。（災害時の影響が反映されていない）また、避難所である公民館や学校に備蓄品を保管することが効果的であると思う。</p>	<p>米子市地域防災計画は、過去の災害事例を踏まえ想定される災害を検討し、計画したものであり、災害時に発生する様々な問題に臨機応変に対応するための指針となるものです。</p> <p>また、備蓄品は、使用期限の管理などを適切に行うため集中管理しておりますが、物品は複数個所の防災倉庫（弓ヶ浜・東山・皆生・淀江など）で保管しており、発災時に迅速に活用できるような体制としています。</p>	防災安全課
11	消防団員について	<p>11-1 消防団員の高齢化と減少が止まらない。また、消防団員への負担が大きく敬遠して入団しない住民もいる。災害や避難所運営など、多様な業務を担うことが必要とされる中で運営の改善が必要。</p>	<p>消防団は、火災をはじめ、頻発化する災害や災害時以外の活動等、その役割は大きくなっています。団員の減少等が、地域防災力の低下につながるよう、広報誌等による入団促進、装備資機材の充実強化等による活動環境の改善を図るなど、引き続き、社会環境の変化に対応した取組を行っています。</p>	防災安全課

提案・意見の概要	提案・意見	提案・意見に対する市の考え方	担当課	
子育て・教育・健康づくり・福祉				
12	子育て環境について	<p>12-1 産婦人科が多くあり、出産において恵まれて環境である。もっとアピールしてみてもどうか。</p> <p>12-2 児童文化センターの多目的ホールは走り回って遊ぶことができるが、土日祝日は人が多すぎて思いっきり遊ぶことができない。米子は子どもが遊ぶところが少ないので、天候関係なく過ごせる施設があれば、幼いころから体を動かす習慣が付き、病気にもかかりにくいのではないかなと思う。</p>	<p>本市は、産婦人科・産科医師数が多く、ハイリスクな出産、その後のケアに関する医療体制も整っており、安心して出産に臨める恵まれた環境であることを米子市ホームページで情報発信しています。今後も、出産を取り巻く環境のみならず、妊娠期から切れ目なく子育て世代を支援する体制の一層の充実を図りながら、SNS等の様々な媒体を活用した情報発信を行っていきます。</p> <p>天候を気にせず過ごすことができる遊び場・居場所を求める声は多いと認識しており、今年度は、既存の民間施設を活用して「まんが図書館活用事業」を実施したところです。この事業で実施したアンケート調査により、保護者や子ども達の意見などを参考にしながら、子どもたちの遊び場・居場所づくりの取組を引き続き進めていきます。</p>	<p>こども相談課</p> <p>こども政策課</p>
13	高齢者世帯への支援について	<p>13-1 フレイル対策による健康寿命の延伸は良いが、元気な時は自宅での生活を望む高齢世帯に対する支援策がない。在宅生活が長いほど認知症に成りにくい結果もでている。買い物、通院難民に対する支援策を行うことで在宅での生活を長くして介護施設の負担軽減を図ってみたいかどうか。</p>	<p>本市では、第9期米子市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づいて、高齢者が住み慣れた地域で支え合い、生きがいを持ち、自分らしく暮らせるよう、様々な取組を行っているところです。買い物や通院等の移動困難な方の支援についても課題であると認識しており、全国的な取組も参考にしながら支援策を充実していきます。</p>	<p>長寿社会課</p>

提案・意見の概要	提案・意見	提案・意見に対する市の考え方	担当課	
市民自治（自治会等）・人権				
14	自治会活動について	<p>14-1 自治会活動は大きな転換期にきている。会員数の減少、役員のなり手不足は危機的状況である。自治会活動の負担軽減が図られていない。</p>	<p>自治会は、同じ地域に住む住民同士がつながりを深め、安心・安全で住みよい地域社会の維持と発展を目的に組織された地縁組織であり、今後も重要な役割を担うものです。</p> <p>自治会活動における地域の担い手不足については、集合住宅に対する自治会加入促進活動等の推進、市職員がボランティアとして積極的に地域活動に参加するサポーター制度「地域かかわり隊」を発足するなどの取組を進めているところです。</p> <p>また、自治会活動の負担軽減についても、市が自治会に依頼する配布物やその他の活動等について具体策の検討を進め、取り組んでいきます。</p>	地域振興課
その他				
15	安心・安全なまちについて	<p>15-1 国際情勢の変化、少子高齢化、東京一極集中化など様々な要因がある中、安心して過ごせるまち米子市（米子市らしさ）をめざし取り組んで欲しい。</p>	<p>社会情勢がめまぐるしく変化する中、少子高齢化、人材不足、DX推進などに対応しながら、米子の特性を活かしたまちづくりを進め、市民の皆さまが安心・安全で幸せを実感できる米子市をめざして取り組んでいきます。</p>	総合政策課